



菊川市議会だより

議会のひろば

2025.2.20 No. 81

今月の
特集

リサイクル率向上を目指します
赤土リサイクルステーションの
皆さまに聴きました

特集……………P01
12月定例会概要 ……P03
一般質問……………P06
みんなの声……………P12
議会活動レポート……………P13
きかせてママの声他……………P15



国指定重要文化財 黒田家住宅

菊川市ホームページ
市議会のページは
こちらから



特集

リサイクル率向上を目指します 赤土リサイクルステーションの皆さまに聴きました

循環型社会の推進を図るために、赤土リサイクルステーションが設置されました。当リサイクルステーションで収集されるリサイクル品は、市内全体で収集される量の約30%に達するそうです。現在、8名のシルバー会員の皆さまによって、休祭日を問わず、毎日赤土リサイクルステーションの運営管理を行っていただいております。



落合さん（左）秋田さん（中）福嶋さん（右）



秋田さん

〈やりがいを感じられる瞬間は〉

- ・分別をしっかりとって搬入してくれたとき。
- ・「お疲れ様」と感謝されたとき。

〈利用者が多い時間帯や曜日は〉

- ・休日は朝から多くの方がみえる。
- ・平日は、通勤途中だと思えますが、始業からと、終業1時間前に多くの方がみえる。

〈回収するゴミの中で、持ち込みの多いものの種類は〉

- ・廃プラが最も多く、続いてペットボトル、アルミ缶が多い。

市民と議会をつなぐ特集ページです。
今回は、公益社団法人菊川市シルバー人材センター会員の、赤土リサイクルステーションでお仕事をされている皆さまに、ご苦労等について伺いました。

〈夏の暑さが厳しくなったが、持ち込まれるリサイクル品に変化は〉

- ・ペットボトルが多くなった。
- ・季節には関係ないが、食用油の回収が多くなった。

〈市民に知ってほしいリサイクル品の出し方で注意してほしいことは〉

- ・電池、スプレー缶等の回収できない物の持込や、スチール缶とアルミ缶の分別、キャンプの外し忘れ等に注意してほしい。



福嶋さん

〈外国籍の方の利用はどれくらいありますか〉

- ・外国籍の方の利用は1割程度ですが、皆さんルールをしっかりと守ってくれます。

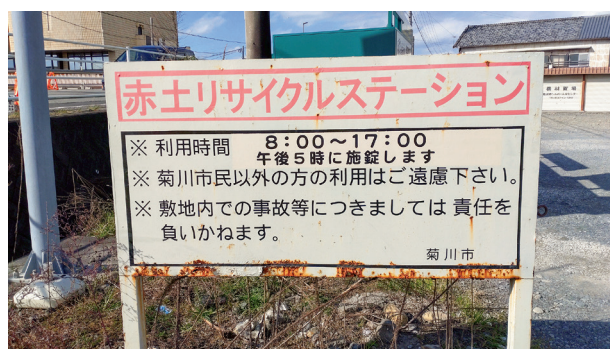
・分からないことは聞いてくれて、日本語でも対応できます。

〈今後、容器包装以外の衣装ケースやバケツ等の製品プラスチックごみが収集されることになりましたが、収集される側として何かありますか〉

・サイズが大きいので、収集方法を検討してもらい必要がある。

〈雨天時のご苦労は〉

・カップを着用しての作業になるため、暑い時には熱中症への注意が必要。



〈搬入される市民の皆さんに、リサイクル品の出し方等について注意をしなければならぬ時があると思いますが、注意を伝えるにあたって心掛けられていることはありますか〉

・乾電池や蛍光管、時には生ゴミも搬入しようとする方がみえますが、そんな時には、回収方法（回収先）について、理解してもらえるように伝えることを心掛けています。

〈リサイクルステーションの営業時間外での搬入はありませんか〉

・リサイクルステーションに搬入できない物品（蛍光管等）の搬入や、搬入できるペットボトル、廃プラを所定外の場所に放置されることがある。

〈その他〉

・1週間に3日程度の勤務ですが、体を動かしているせいか体調面は良好です。



取材へのご協力ありがとうございました。
菊川市の資源の有効活用および廃棄物量の減少につながるリサイクル事業にご尽力をいただきありがとうございます。

〈取材協力〉

公益社団法人菊川市シルバー人材センター
落合 広行さん（常務理事兼事務局長）
秋田 勝さん（シルバー人材センター会員）
福嶋 登さん（シルバー人材センター会員）

概要

12月定例会 審議結果

会期 25日間 令和6年11月29日～12月23日

議 案 28件	諮 問 1件	発 議 1件
------------	-----------	-----------

賛否が分かれた議案等一覧表

議案番号	議案名	結 果	渥美 嘉樹	東 和子	坪井 仲治	織部ひとみ	渡辺 有紀	須藤 敦基	山下 直博	鈴木 博文	小林 陽仁	横山 光世	倉部 正幸	松本 隆一	横山 隆一	山下 修
議案第81号	指定管理者の指定について（菊川市営保養センター「小菊荘」）	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第89号	菊川市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発議第10号	（修正動議）国の負担で学校給食の無償化を求める意見書	可決	×	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	—
	（修正部分を除く原案）国の負担で学校給食の無償化を求める意見書	可決	×	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	—

※○…賛成 ×…反対 欠…欠席 ※議長（山下 修）は採決に加わらない。

すべての議案名および審議結果は菊川市議会ホームページをご覧ください。議会事務局へお問い合わせください。

審 査 ピックアップ 議 案 第73号

菊川市一般会計補正予算（第4号）

令和6年度の事業を行うにあたり、当初の予算に過不足が生じたものなどについて、その理由などを確認し、課題や問題点などについても議論しました。

④ 建築物等耐震改修促進事業費、耐震診断件数17件の増加要因は。また、木造住宅の耐震補強の内容は。

より倒壊しない基準値まで強度を引き上げる設計を行い、工法が決定される。

⑤ プロジェクト「T.O.U.K.A-10」事業の「わが家の専門家診断」の無料診断が本年度で終了と示されていたことによる駆け込み需要、能登半島地震や南海トラフ地震臨時情報における防災意識の向上などにより、申請件数が増加したと考えている。木造住宅の耐震補強の方法については、建物等で筋交いを補強するケースから基礎や壁、屋根まで補強が必要になるケースもあり、建物が地震の揺れに

〈執行部回答後の議員意見〉

1,588件の診断をして、改修の実施件数が171件ということ、なかなか耐震改修工事が進まないというのは大きな課題と感じる。公的な補助というのは考え方としては難しいと思うが、進めたいかという倒壊ゼロはなかなか難しいと感じている。

⑥ ふるさと納税事業費、令和6年度のふるさと納税寄附金の受付件数と寄附金額及び令和7

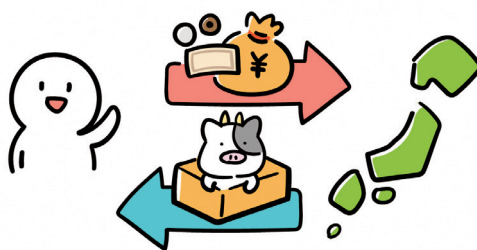
年度の受付件数と寄附金額の予定は。

〔A〕 令和6年度のふるさと納税については、11月末現在で寄附件数1,321件、寄附金額46,371千円となっている。令和7年度の寄附件数、寄附金額の予定は、ふるさと納税の件数、金額とも12月が年間全体の約4割を占めるため、本年12月の状況やふるさと納税全体の伸び率、PR等による効果等を検証して、今後、決定していく。

〈執行部回答後の議員意見〉

ふるさと納税が少なくなっているが、12月が勝負の月なのでSNSで市民から広めてもらい、もう少しやれることがあると思われるため、これらを検討材料にして頑張りたい。

ふるさと納税



〔Q〕 救急活動事業費、除細動器はどのような時に活用するものか。また、保守点検期間は。附属品CO₂センサーの役割は。

〔A〕 AEDと同じく心肺停止状態の傷病者に使用する。また、この除細動器は、電気ショックだけではなく、心電図波形の測定や、窒息などが原因で心肺停止となった傷病者に医師の指示により気管にチューブを挿入し、空気の流れを確保する気管挿管を実施したときに、二酸化炭素濃度を測定することに活用する。

保守点検期間は、医療機器はいつ、いかなるときも正確な数値により必要な医療行為を決定するため、購入から4年目、7年目で実施しており、10年目で救急車の更新と合わせて更新している。附属品のCO₂センサーの役割は、気管挿管を実施したときに、チューブが気管に正確に挿入できているかを、肺から排出される二酸化炭素濃度を数値とグラフによりリアルタイムで確認するためのものである。CO₂センサーは、医療事故を防ぐため、静岡県のメディカルコントロール協議会で決められた救急活動プロトコルにおいても最重要資機材とされている。

〈執行部回答後の議員意見〉

除細動器とCO₂センサーについては、消防署員が点検をして、その中でセンサー異常や機器の異状を確認するということで、点検に出してはじめる。

て分かるのではなく、日々使える状態になっているということがよく分かった。

〔Q〕 障害児通所支援費、放課後等デイサービス費増加数が184人から249・4人と大幅に増えているが、要因は。

〔A〕 放課後等デイサービスの利用対象者である発達に課題のある子どもが増えてきていること、療育の場としての放課後等デイサービスの認識が広がったこと、また専門的な療育を受けることで、成人になってからの課題を減らし、生活能力の向上を図るため、早期の療育を希望する保護者が増えたことなどが、大幅増の要因として考えられる。近年は、学校関係者からの相談や、軽度の発達障害であっても将来を見据え、療育を希望する保護者が増えていることから、今後も利用者数や利用回数が増加するものと見込

でいる。

〈執行部回答後の議員意見〉

放課後等デイサービスの利用、こども医療費等毎年必ず大きな額の補正が出ている。原因や現状実態把握を行い本来に必要な額の予算が通るような仕組みが必要である。

健康増進事業費、ウォーキング啓発チラシはどのようなものか。フリーングシエルターののぼり旗がなぜ今必要か。債務負担がかけられているが企画内容は検討されたのか。

今年度新たなウォーキングコースを菊川地域と小笠地域の2カ所に設定する。この2コースのウォーキングマップとウォーキングの効果や歩き方などを掲載した啓発チラシは、市制20周年記念事業「ぎくがわ健康フェスタ」におけるウォーキングブースや、今後開催する健診後の健康教育室や保健指導、市民への健康

教育の場、出張健康相談事業等のイベントなどで配布し、ウォーキングの啓発を図り健康づくりにつなげていく。フリーングシエルターののぼり旗は、令和7年度当初予算で計上する予定であったが、令和6年度に明治安田生命保険相互会社からの寄附金でフリーングシエルターが設置されていると市民に分かるような、のぼり旗を作成し、次年度以降に活用していく。債務負担行為の企画内容の検討対象事業は、健康マイレージシートの印刷業務である。健康マイレージ事業は、新規参加者の増加や青年期・壮年期の世代における取組者の増加につなげることが課題となっており、令和7年度は新たな参加者を取り込むため、キッズチャレンジシートを作成し、子どもとその親世代と一緒に取り組めるような参加方法や市内企業への呼びかけを行い、働く世代への取組が増加する

ように計画をしている。今後、

事業を協力している関係課とも調整を行いながら、多くの人に参加していただけるよう次年度の準備をしていく。

〈執行部回答後の議員意見〉

事業評価で、子どもと一緒にやってみたらどうかなど議員からの提案もかなり加味していることもあり、事業評価をやった意味が大きいと思う。今後もこういう形で一つずつ改善していければいいのではないか。



給食センター管理費、修繕が必要となった箇所、修繕内容の必要性は。計画的な修繕はできないのか。

今回3カ所の修繕が必要となった。恒温恒湿庫壁パネルの修繕、食器洗浄機タッチパネルの修繕、プレハブ冷凍庫搬送ファンモーターの修繕である。この3カ所は、突発的というよりも前から機器が大分古く、不具合があった為、今回計画的に修繕をした。

〈執行部回答後の議員意見〉

実施計画と財政計画をすり合わせていく計画でないと本当に困ったときに急いでやるということになる。施設・設備は何年に補修で何やった、そこからどの位で交換補修が必要になると予測できるような、職員が変わっても見られるようなカルテ的なものが必要である。

一般質問

議会の映像配信をご覧いただくには



ここをクリック

本会議の生中継や録画映像をインターネットにより配信していますので、ぜひご覧ください。また、会議録はホームページ、市役所4階議会図書室、菊川文庫、小笠図書館で閲覧できます。(令和6年12月定例会の会議録は準備出来次第となります)



一般質問とは？

議員が地域住民に密着している事項や市の施策について、状況確認や今後の方針について説明を求めるため質問を行います。また、市への政策提言を行うこともあります。

質問議員：10名

※議員名の下の（ ）は、所属する会派または政党を示します。



一般 災害対応について

西下 敦基（市民ネット）

ⓐ 災害時の大型ヘリポートとして 岳洋中学校グラウンドとしており、グラウンドは車中泊やテント泊が考えられているが、発着場基準では幅100m長さ150m程度の広さが必要とされており、避難所の運営に考慮が必要ではないか。

ⓐ 避難所の状況においてグラウンドを車中泊などに利用されることは想定している。このため、状況に応じて災害対策本部では、関係機関と協議し、別のヘリポートへの離着陸を選定することとなる。避難所運営委員会との情報共有については、これまで防災訓練において、ヘリコプターを使用した離着陸訓練を行う中で、避難所運営委員会と手順などを確認している。

ⓐ 内水被害の軽減について、浸水被害が考えられる場所から河川本流へ可搬ポンプなどでの排水を行い、被害の軽減をすることができないか見解を伺う。

ⓐ 河川の水位が上昇した場合、外水氾濫による大規模な被害を軽減するため、水位に合わせて各樋門は閉

鎖することとなっている。樋門を閉鎖することにより内水氾濫が生じることが、可搬ポンプでは排水能力が低く効果は限定されることや、設置には危険が伴うため考えていない。このため、国の直轄河川については排水能力に期待ができ、安全対策にも配慮されている排水ポンプ車の配置を国土交通省へ依頼し、被害の軽減を図ることとしている。

他に「置き配」でCO₂削減と物流問題改善へ」について質問しました。



一般 発災後の安心・安全を求めて

坪井 仲治（みどり21）



12月1日に能登半島地震の災害発生後に体調を崩されて亡くなった災害関連死者数が熊本地震の死者数を超えたとの報道があった。災害発生後の対応が災害関連死の減少に大きく影響するため、災害発生後の安心・安全につながる対応等について質問した。

【Q】大規模災害時に他自治体から応援職員を受入れるための受援体制の整備状況は。

【A】令和元年に災害時広域受援計画を策定したが、職員個人の業務の明確化や防災訓練での参加者の意見などからマニュアルの必要な改正を行い、受援計画の実効性を高めている。

【Q】政府は新たに経済対策で地方創生交付金を活用し、地域の先進的な防災の取組みを支援する仕組みを設けたいとしているが、菊川市として交付金の活用方法は。

【A】現時点では制度の詳細が示されていないため、今後、採択基準と照らし合わせて自然災害への備え、防災力の強化につなげていきたい。



【Q】災害発生後の環境改善を目的とした、地区センターの停電時における電力供給システムの導入は。

【A】現在、地区センターには、ポータブル発電機や通信システム用のバッテリーは備えているが、今後、地区センターなどが新築・改築される際には、外部電源からの電力供給による環境改善が図られるよう検討していく。

一般 「役に立つ役場」と市民協働について

横山 隆一（日本共産党）



市民と行政が、地域社会での支え合いや助け合う市民協働の視点を持ち、これからのまちづくりを進めるなど、市民レベルでの交流機会の創出や交流活動が求められている。職員も、まちづくりの一翼を担っているというプロ意識を持って市民と協働して、まちづくりに取り組むことが求められています。

【Q】市民が求める役場・職員の意識についてどう考えているか。

【A】市民協働を進めるためには、職員と市民が同じ目線で目的を共有することや、現場に足を運び声を聴くことが重要である。

【Q】職員の市民活動への参加促進に関する考えを伺う。

【A】市民活動へ参加することは大変重要と考えており、自治会活動やスポーツの指導者などに携わっている。

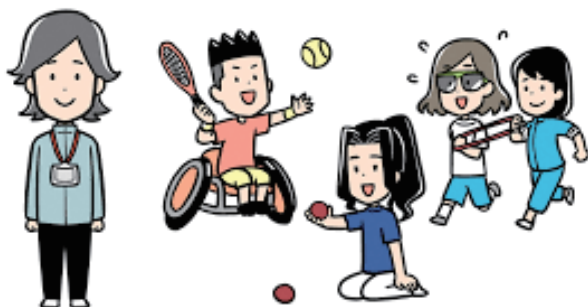
【Q】職員の社会貢献活動・兼業に対する考えを伺う。

【A】地域貢献活動に参加することは重要である。総務省の検討会の状況

を注視し、兼業の許可基準を定めていく。

【Q】市長の、市民との交流のあり方について伺う。

【A】市長就任以来、私の人となりや公務の様子をお伝えするとともに市民との交流機会づくりに努めてきた。市民にとって「より身近な存在」となるよう引き続き努めていく。



一般 窓口業務の軟骨伝導イヤホンの導入を 織部 ひとみ（みどり21）



一般社団法人日本補聴器工業会の2022年度の調査によると、日本の難聴者は人口の約10%で、高齢化に伴い、今後さらに増える。役所等の窓口では、老眼鏡は置いてあるが、耳の聞こえづらい方向けには何もされていなく感じている。菊川市では高齢者や耳の聞こえづらい方などが窓口業務を利用する際、筆談や大声での説明が必要となり、コミュニケーションが困難であるという課題があり、これらの課題を解決する意味で、軟骨伝導イヤホンの導入への考えを伺う。

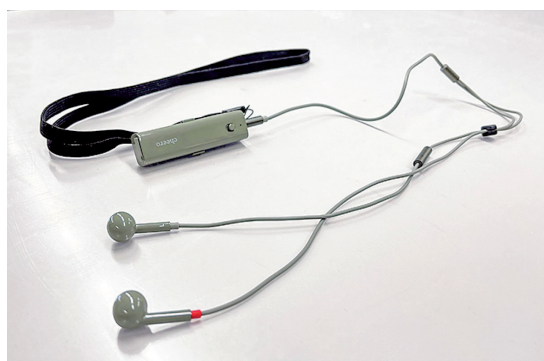
パンフレットやチラシなどを活用し、文字で確認していただくことで、必要なサービスの提供に配慮している。

Q 他市での事例を考慮して、菊川市でも効果が期待できると考える。市民の利便性向上のため、軟骨電動式イヤホンの導入の見解を伺う。

A 高齢者の利用が多いプラザけやき内の長寿介護課窓口で軟骨伝導イヤホンを導入する。他部署の窓口にも貸し出し、使用頻度や利便性効果を検証していく。

Q 窓口業務は、市民が直接、市のサービスを受ける重要な場面であり、特に高齢者や耳の聞こえづらい方にとって、その対応が非常に重要である。菊川市として、困難や課題についてどのように認識されているか。

A 耳の聞こえづらい方への窓口対応は、主に筆談や大きめの声で対応しているが、手間と時間がかかり、プライバシーの保護に配慮する必要がある。ゆっくり、分かりやすい言葉で話すことに心掛けている。また、



一般 道徳・いじめ・不登校について 須藤 有紀（みどり21）



Q 菊川市における道徳の授業の位置づけと取組内容は。

A 学習指導要領にあるように、子ども達が豊かな心を育み、よりよく生きるための基盤を培う極めて重要な時間と位置づけている。親切・思いやり、相互理解・寛容といった内容の指導や、初代静岡県知事の関口隆吉を題材とした郷土愛を育む全校道徳、学年を超えた話合いの授業等も行っている。

Q 地域社会との連携における学校側の意識改革の状況は。

A 多くの機関と連携し福祉教育、人権教育、ネットいじめを含んだいじめ防止教育等を行っている。園児から高校生まで交流を深めた挨拶運動など様々な取組を地域と連携し進める中で、心を育み、いじめ防止対策、不登校対策に繋がっている。

Q いじめ調査と実態の乖離は。

A 元静岡大学特任教授を講師とし、アンケート調査の結果が全てではないという認識の下、児童生徒理解や教育相談に取り組むよう進めている。

Q 我が市独自の教材作成は可能か。

A 市で統一した冊子の作成は可能。題材の準備、市で統一する調整が必要。

Q 新規不登校児は減ったとのことだがまだコロナ禍の弊害も多い。マスク着用の弊害、現状、対策は。

A 現在、市では感染症対策でマスク着用の指示は出していないが、マスクが外せない子がいるのは事実。マスク着用で安心して学校に来ることができるよう、無理に外す必要はないと考えている。



一般 夏場の水泳ほか体育授業について

渡辺 修（みどり21）



老朽化する市内の小中学校のプール設備と炎天下の体育授業について質問しました。

効。

Q 小中学校水泳授業の在り方とプール設備の改修計画について。

A 現時点で具体的な改修計画はないが、将来的な更新や大規模改修に備え、学校間の共同利用や民間委託の可能性を含めた計画作成が必要。

Q 体育授業にスイミングスクール活用は可能か。

A 水泳授業は水泳技術習得、体力向上など多岐に渡る教育効果が期待できる。教員による指導を継続する方針。ただし、プール維持が困難な場合はスイミングスクール施設利用も検討。

Q 水泳の授業を夏場から秋口に変更して行うことは可能か。

A 9月までの運用は夏季休業中のプール管理が必要。経費面や職員の働き方などを踏まえ夏季休業前が適当。熱中症対策としては、例年より前倒しし6月初旬開始することが有



Q プール補助員配置について。
A プール準備における補助的職員の配置は、負担軽減が可能な業務の一例。様々な方策で教員の働き方改革を進めていく。

Q プールを覆う屋根やネットの設備は予算的にも法令的にも厳しいが水面を遮光する手段はないか。

A 全国的にも例が少なく、天候や安全面など課題がある。水面の遮光ではなく、プールの開始時期を工夫するなど、ほかの手法を考える。現時点では水面の遮光は考えていない。

一般 財産区の廃止について

横山 陽仁（至誠の絆）



Q 県に届け出た正式な財産区はどこか。

A 高橋財産区と内田財産区の2カ所。

Q 市で把握している財産区は。

A 高橋・内田の他、河東、西方、堀之内地区で各1団体、横地地区で3団体、河城地区で7団体、六郷地区で5団体の計20団体。

Q 地区振興費としての支払いの仕方は。

A 契約は市で行い、権利を持っている地区へ振興費として支払いをしている。

Q 実際に借用したいという者が出た場合は、どのような形で相談するのか。

A 市有地になっているので市に相談が来る。財産区の場合は市から地区と相談するように伝える。

Q 主に明治時代の遺物のような財産区を合併20周年を機会に廃止したかどうか。

A 市の方で受け取っても管理等できないので、今のままでいきたい。明治時代からの話という側面もあるくらいの話、相手もあること、広く今後研究していく。

他に「原価管理の手法を行政に応用したらどうか」ということを質問しました。



一般 生ごみは資源、燃やさないで！

織部 光男（無所属）



掛川市、菊川市の可燃ごみは、掛川市満水にある環境資源ギャラリで燃やしています。今日の質問は生ごみに絞ります。菊川市は年間約2,268トン市民の生ごみを燃している。給食センター、菊川病院、おおぞら認定こども園の生ごみは、鈴与商事菊川バイオガス事業所で発酵メタンガス発電をして、最後は肥料化し資源として再利用しています。国も県も生ごみ問題は地方自治体に任せています。豊橋市の環境部のバイオマス利用センターでは、生ごみ・下水処理場の汚泥・し尿の3種類をメタン菌で発酵させ、発電、1年間で1,890世帯の電気を作り、残りは炭化燃料として利用しています。循環社会そのものです。まさに資源活用、無駄なく循環社会の実現化です。岡山東真庭市の太田昇市長は「今を生きる一人の人間の義務として、また自治体行政を預かる責任者として、環境の保全や改善を重視した環境行政を進めたい」という強い意識をもっていきます。」と発言。

Q 市長は太田昇市長のような意識を持っていますか。

A 地球温暖化対策やごみの削減などの環境政策は非常に重要であると考えています。生ごみにつきましては、発生の抑制、排出の抑制、適正な処理を講じながら、持続可能なまちづくりに取り組んでまいります。

Q 市民の出す生ごみから発電や肥料化する事業計画はありますか。

A 現時点で具体的な事業計画はありませんが、他市の視察や調査を行い、課題を整理している段階です。



一般 コミュニティ・スクールこれから

倉部 光世（市民ネット）



学校と地域住民等が力を合わせ学校運営に取り組むことが可能となる地域とともにある学校への転換を図ることで地域の課題解決にもつながる。

Q 自治会、コミュニティ協議会、PTA等へ十分説明はされているか、ディレクターや担当課が説明を行う必要性は。

A まだ理解が進んでいるとは考えていない。今後は地域支援課とも協力しディレクターを中心に説明会を計画し理解を進める。

Q 学校支援ボランティア減少理由は。

A 共働き、定年延長、ボランティアの高齢化等全体的に働き方が変わっている社会環境の変化が影響している。

Q 学校と地域をつなぐディレクターは各学舎一人で担えるか。

A 補助役を各小学校に配置する必要性は感じている。

Q 少子高齢化に伴い、地域を担う人材不足が問題となっている。放課後子ども教室、青少年健全育成、スクールガード等、不登校対応や部活動も含める必要があるが、将来像をどのように描いているか。

A 安全部門、部活動など、将来的にはコミュニティ協議会と連携していくことが必要。必要に応じて担当部署と協議し、さらなる活動の活性化のためより情報共有を図っていく。

他に「栄養教諭・養護教諭・学校事務職員の働き方について」質問しました。



一般 住民の命を守る防災

渡美 嘉樹（至誠の絆）



自治体の第一使命は、住民の命を守ることです。今回は令和3年の一般質問を踏まえて、リスクの高い要支援者の防災について質問をいたします。

Q 令和3年の一般質問で、福祉避難所への直接避難について「今後策定を予定している避難支援プランの中で事前に福祉避難所への受入れ対象者を特定することに係る課題等について検討を行い、その方法について定めていく予定」と市長から答弁があった。この件について、これまでの検討状況及び実施方針を伺う。

A 直接避難の事前受入れ対象者の調整については、令和6年3月に策定した避難行動要支援者避難支援プランに基づき、今後、高齢者や障がい者などの要支援者について個別避難計画を作成していくなかで、個々の状況の確認を行い、直接避難すべきかどうかを検討、判断し、受入れ施設側との協議も行いながら調整を進めていく。また、福祉避難所の円滑な運営を図るために整備している「菊川市福祉避難所開設運営マニユ

アル」においても直接避難に関する項目を追加することとし、令和6年3月に福祉避難所の協定事業所に説明するとともに、7月から8月にかけては事前受入れ対象者の調整に必要な協定事業所の受入れ可能人数の確認と福祉避難所の迅速な開設ができるよう、資機材の保管場所や数量の確認を行った。

他に「保育施設の気になる子等の支援」、「新型コロナウイルス予診票の取り扱い」について質問しました。



一部事務組合とは

一部事務組合とは、複数の市町村などが行政サービスの一部を共同で行うことを目的として設置する行政機関のことを指します。組合自体が一つの地方自治体とされ、組合には議会を置くこととされています。隣接する中・小規模な市町村が消防やごみ処理、火葬場等の運営を行うために設けることがあります。菊川市では、8組合（12施設）を隣接する市町と共同で運営しています。菊川市の組合は次のとおりです。

組合名	事務事業	施設名
牧之原市・菊川市学校組合	保育園・小中学校	牧之原小学校・中学校・保育園
東遠学園組合	障害児者施設	東遠学園（児童部・青年部） 東遠地区生活支援センター（サービス部、相談部） 児童発達支援センター（めばえ、みなみめばえ、きためばえ、ひがしめばえ）
小笠老人ホーム施設組合	養護老人ホーム	小笠老人ホーム（小笠の郷）
中東遠看護専門学校組合	看護学校	東海アクシス看護専門学校
東遠地区聖苑組合	火葬場	東遠地区聖苑
掛川市・菊川市衛生施設組合	ごみ処理	環境資源ギャラリー
東遠工業用水道組合	工業用水道事業	東遠工業用水道
東遠広域施設組合	し尿処理	東遠衛生センター

議会豆知識



みんなの声

投稿者より

11月号とても読み応えありました。

不安定な世の中で、物価や光熱費など高騰し生活も厳しいですが、菊川市の為に議員の方と市民の皆さんが質疑応答でコミュニケーションが取れるのは有り難い事だと思いました。

南海トラフ等今後起こる可能性のある災害で、携帯トイレの必要性を分かりつつもまだまだ備蓄出来ていません。市民一人一人が重要性を認知し、いざという時に慌てないようにしっかり認識しなければ！と思いました。おすすめの商品などあれば紹介してほしいです！

傍聴者より

初めて傍聴しました。厳正の中でも、発言の自由や少々のユーモアを感じました。真摯な答弁でした。

防災、災害後の対応についての取り組み（質問）は、重要なことですので、今後も深く議論して頂きたいです。

又、その取り組み（現場での）には市民協働が不可欠です。

傍聴者より

一般質問を傍聴しに来ました。質問の内容もそうですが、人柄に優しさや温かさが感じられ、とても良かったです。

又、教育長、教育課長の答弁も子どもへの愛情が感じられるとても良い答弁だと思いました。ありがとうございました。

ご感想やご意見ありがとうございます。議会だよりのご購読、ご関心をお持ちいただきまして大変うれしく感じます。わかりやすく見やすくできるよう検討してまいります。

投稿者より

表紙の写真、季節感があって良いです。どこの風景か、すみにかいてほしいです。

議会への意見受け付けていますの文字が、高齢者には見にくいかもしれません。

傍聴者より

素晴らしい質問と答弁の数々を拝聴させていただき、ありがとうございました。

こうした議会の様子を市民ともしっかり共有していくことが、よりよい菊川市のために必要だと改めて感じました。

傍聴者より

傍聴させていただき、議員さん、市長および職員さんのナマの声を聴けたことが良い勉強になりました。

反問権の行使は初めて見させていただきました。議員さんと行政側の意志を疎通させることは、市民にとっても理解を深める上で良かったと思います。

本来は、質問前に擦り合わせておくべきだとは思いますが、議会をわかりやすく、開かれたものにしていく意味から、必要に応じて積極的に実施していただければと思いました。

《皆さまの声をお聴かせください》

「議会のひろば」を読んだ感想や意見をお寄せください。

もれなく菊川市議会特製

“きくのんクリアファイル”をプレゼント!!

- メール gikai@city.kikugawa.shizuoka.jp
- FAX (0537) 35-2116
- 郵送先 〒439-8650 静岡県菊川市堀之内61番地

※議会への要望や意見なども受け付けています。
※クリアファイルの郵送のため、住所と連絡先も記載ください。



メール送信はこちらのQRコードを読み取ると便利です。





議会活動レポート

議員研究会について

11月14日に菊川市議会では「ネットゼロ社会に向けた自治体の取組について」というテーマで、議員研究会を開催しました。静岡県から講師2名をお迎えし、「脱炭素社会実現に向けた県の取組」として、地球温暖化や気候変動といった地球を取り巻く自然環境の変化や、国内外の地球温暖化に関する最新の動き、また、県として取り組んでいる「静岡県地球温暖化対策実行計画」について、ご講義いただきました。



他市議会からの視察の受け入れ

令和6年8月～令和7年1月末までの期間に「菊川市、菊川市議会を参考にしたい」と5件の行政視察をお受けしました。

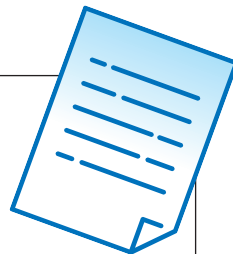
受け入れ実績（令和7年1月末時点）

- 8月1日 朝霞地区議長会
和光市・新座市
朝霞市・志木市
- 10月25日 埼玉県入間郡三芳町議会
厚生文教常任委員会
- 10月30日 兵庫県三木市議会
議会運営委員会
- 11月6日 茨城県日立市議会
広報広聴委員会
- 11月6日 岩手県滝沢市
会派「滝政会」「公明党」



菊川市までお越しくくださった皆さま、ありがとうございました。

提言書を提出しました



10月25日に菊川市議会一般会計予算決算委員会から市に対して提言書を提出しました。提言書では、9月定例会で行った令和5年度決算審査の内容を踏まえ、令和7年度当初予算編成の際に配慮すべきことについて、菊川市総合計画の5つの基本目標ごとに意見をまとめました。令和7年度は、第2次菊川市総合計画の最終年度となるため、これまでの各事業の精査・検証を行い、第3次菊川市総合計画に向けて新たな一歩となる魅力ある予算編成を期待するとして、提言書を議長から市長に手渡しました。

菊川市総合計画の5つの基本目標

1. 子どもがいいき育つまち（子育て/教育）
2. 健康で元気に暮らせるまち（保険/福祉/医療/社会教育）
3. 活力にあふれ地域の良さを伸ばすまち（産業/観光）
4. 快適な環境で安心して暮らせるまち（防災/環境/社会資本整備）
5. まちづくりに市民と行政が共に取り組むまち（コミュニティ/自助/共助/公助）＋行政運営

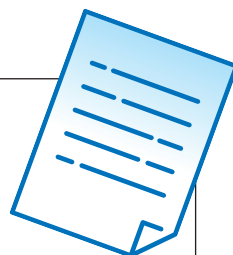


提言書本文は下記のURLまたはQRコードからご覧ください。

<http://www.city.kikugawa.shizuoka.jp/gikaijimu/katudouhoukoku/documents/r6yosannkessannteigennsyo.pdf>



意見書を提出しました



国の負担で学校給食の無償化を求める意見書

学校給食は、学校給食法第1条に「食育の推進」がその役割を目的として規定されています。令和5年度学校給食実施状況等調査によると全国平均で小学校が年間に5万1,568円、中学校が5万9,037円と、給食費の負担が大きい状況です。令和5年4月にこども家庭庁が発足し、「こども未来戦略方針」において、学校給食の無償化に向け、全国ベースでの学校給食の実体調査が進められています。財政余力が十分でなく無償化の実施が困難な自治体も多い中、義務教育の家庭の費用負担で自治体間格差が生じることは問題であり、格差を最小限に留めるよう努力することは国の務めです。学校教育の一環としての豊かな学校給食を保障するとともに、全国あらゆる学校での給食費を無償とするには、国の財政措置が必要不可欠であることから、本市議会は、国に対し、国の責任において財源確保を行い、学校給食費の無償化の実現のため、十分な財政措置を講じることを強く求めます。

<提出先> 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、内閣官房長官

提言書本文は下記のURLまたはQRコードからご覧ください。

<http://www.city.kikugawa.shizuoka.jp/gikaijimu/katudouhoukoku/documents/r6-12kyuusyokumusyyoukaikennsyo.pdf>





きかせてママの声

Vol.36

菊川市に住むお母さんに
聞きました。

長男の小学校入学を機に私の地元である菊川に越してきました。地域の皆さんにはとても温かく迎え入れていただきました。散歩等でお会いすると子どもたちに「また大きくなったね」「学校楽しい？」など声をかけてくれる方がたくさん居て子どもの成長と一緒に見守っていただけて本当に幸せだなと感じています。市内には図書館や公園などの施設も整っていてよく利用します。子どもが楽しめるイベントもたくさんあり2025年もどんなイベントがあるが楽しみにしています。

澤村 智美さん



2月定例会の予定 (各日とも午前9時～)

2月	
12日(水)	施政方針・議案の提案説明
13日(木)	
19日(水)	質疑・討論・委員会付託
3月	
3月4日(火)	委員長報告・質疑・討論・採決
5日(水)	代表質問
6日(木)	一般質問
7日(金)	
27日(木)	委員長報告・質疑・討論・採決
28日(金)	予備日

※予定が変更になる場合がありますので、
事前に議会事務局（35-0941）へご確認ください。

編集後記

市議会議員の任期は1期4年。全17名の菊川市議会議員は、この12月議会を最後に新たなメンバーに入れ替わります。一般質問は、「もっと良い菊川市政にしていきたい」という思いが詰まった内容が多い印象でした。また、「赤土リサイクルステーション」にお話を伺った特集も、他自治体と比べてごみ排出量が少ない菊川市ならではの内容となりました。

菊川市の未来が、これから益々明るく開けていくことを祈ります。
(編集委員 須藤有紀)

【無料】地域住民と自治体をつなぐアプリ「マチイロ」
菊川市議会だより「議会のひろば」も登録しています！



ダウンロードはこちら

マチイロ



あなたもできるこんなこと！



傍聴

本会議・委員会などを傍聴できます。開催日に議会事務局へお越しください。



請願書

陳情・請願

特定のことにについて、議会などに実情を訴え、適切な措置を要請できます。



市民説明会

委員会審査案件の審査経緯、結果などについて、説明会の開催を要求できます。

次回の議会のひろばは

5月発行予定です。

(年4回発行)

お楽しみに！



表紙の写真

菊川市の風景を紹介していきます。

国指定重要文化財 黒田家住宅

「竹あかり展」

社会教育課撮影



撮影地：菊川市下平川



処分するときは雑がみとして
リサイクルを！

© 菊川市

